

報道関係各位

プレスリリース

2026 年 9 月 1 日

株式会社マルチブック

グローバル AI ERP「multibook」、会計情報・経営状況を会話形式で確認できる「AI チャット機能」を 2026 年 10 月リリース予定
multibook 上の正確なデータに基づき、会計情報から経営状況まで、AI との会話でシンプルに確認

グローバル AI ERP「multibook」を提供する株式会社マルチブックは、multibook 上のデータについて対話形式で確認できる「AI チャット機能」を 2026 年 10 月にリリース予定であることを発表しました。同機能は、リリース済みの AI-OCR による契約書自動読取機能、AI リース判定機能に続く、AI 活用機能拡充の第 3 弾です。

※本リリースに記載の機能内容・仕様・リリース時期はすべて予定であり、今後変更となる場合があります。

グローバルAI ERP「multibook」

会計情報・経営状況を
会話形式で確認できる

「AIチャット機能」

2026年10月リリース予定

multibook



■ 開発背景

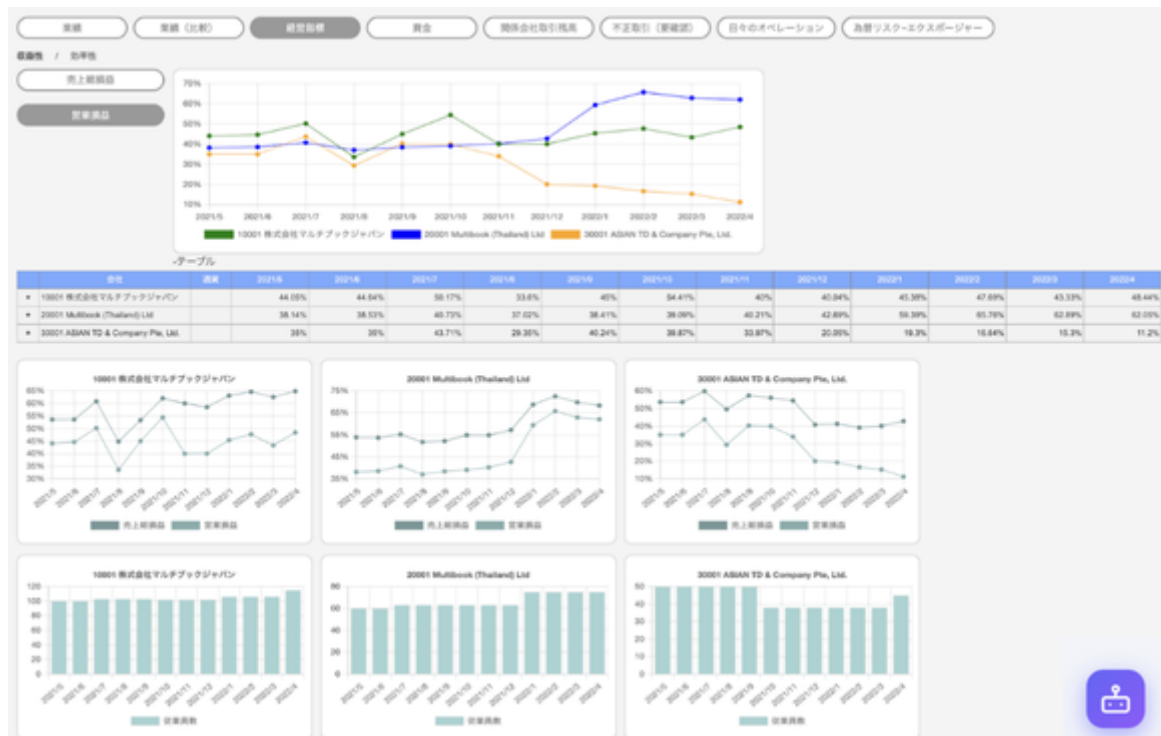
マルチブックは、AIを活用したグローバルAI ERPの実現を開発方針の一つに据えており、2026年3月初旬にリリースしたAI-OCRによる契約書自動読取機能と、仕入先請求書のAI自動仕訳機能に続く取り組みとして、AIチャット機能の開発を進めています。同社が継続的に進めるAI活用機能拡充の環境です。

AIチャット機能は、経営者を主な利用者として想定しています。従来、経営者がmultibook上の経営データを確認するには、画面の操作方法を覚えるか、経理担当者へ都度確認を依頼する必要がありました。また、複数画面を見比べて必要なデータを集める手間もありました。同機能は、この運用上の負担を解消します。

■ 機能概要

いつでも呼び出せるAIチャット

画面右下に常時表示されるアイコンから、multibook利用中はどの画面からでもAIチャット機能を呼び出せます。



multibook の各画面の操作中に AI チャット画面を呼び出して利用できます。

multibook 上の会計情報・経営状況を会話形式で確認

AI チャット機能は、multibook に登録された会計データを参照し、質問に応じて必要な情報を集計・表示します。例えば、「今月の PL を分析して」「外注加工費の推移を見たい」といった質問にも、AI との会話だけで必要な情報を確認できます。結果は表形式でも表示でき、財務諸表をはじめとする各種帳票や経営データを、複数の画面を行き来することなく確認できます。

やりとりを「スキル」として登録・再利用

AI チャット内でのやりとりは「スキル」として保存でき、同様の確認作業を繰り返す場合も、次回以降は登録済みのスキルを呼び出すだけで完了します。セッションは会話ごとに独立して管理され、過去のやりとりも個別に出力・確認できます。



膨大な登録データの中から、今確認したい情報だけをシンプルに表示します。

■ 本機能の特徴

- multibook 上の実データに基づいて回答するため、信頼性の高い情報確認が可能です
- 一般的な対話型 AI と同様の感覚で利用でき、特別な使い方を覚える必要はありません
- AI チャットで経営状況を手軽に把握し、必要に応じて既存画面で詳細を確認できます。これにより、経営者など、主にデータの確認・分析を行うユーザーは、複雑な画面操作を覚えることなく、必要な情報の確認・分析をスムーズに行えます。
- 登録した「スキル」を次回以降呼び出すだけで再利用でき、繰り返しの操作を省けます
- 日本語・英語の 2 言語に対応し、設定作業なしで言語を切り替えられます
- multibook 上の実データを直接参照して回答するため、ユーザーが経営データを汎用 AI サービス等へ個別にアップロードする必要がありません。

■ 今後の展望

マルチブックは、AI チャット機能について以下の拡充を予定しています。

- 受領した請求書を AI チャットに添付するだけで、仕訳を自動起票する機能
- 伝票・マスターの登録・編集など、基本的な操作を AI チャット上で完結できる仕組み

- 各国固有の会計・税務要件に基づき、仕訳のチェック・レビューを支援する機能

いずれも構想・検討段階であり、リリース時期・内容は今後確定してまいります。

■グローバル AI ERP 「multibook」概要

2027 年 4 月 1 日以後に開始する事業年度から強制適用となる新リース会計基準に対応。

グローバル企業向け AI ERP として、12 言語・多通貨・複数帳簿に対応し、海外拠点を含む経営管理を支援します。リース資産管理分野では、契約書を AI-OCR で読み取って資産情報を自動設定する機能や、リース識別・オンバランスの一次判定を自動化する「AI リース判定」を提供。

製造・商社・飲食・建設など多業種にわたり、上場企業から非上場企業まで、40 カ国・750 社以上での導入実績があります。

主な機能：会計、ロジスティクス、固定資産管理、IFRS リース資産管理、新リース会計基準、立替経費精算、マネジメントコックピット、BPO コックピット、外部連携(連結会計、倉庫管理等)機能

サービス名：「multibook」(マルチブック)

URL：<https://www.multibook.jp/>

※12 の対応言語：

日本語、英語、タイ語、ベトナム語、韓国語、ミャンマー語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語(繁体字・簡体字)、インドネシア語

情報解禁日時：2026 年 9 月 1 日午前 9 時

multibook

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マルチブック 梅野

TEL:090-5209-4857 MAIL: haruka.umeno@multibook.co.jp